

平成 25 年 10 月 29 日
生活文化局

平成 25 年度
第 2 回インターネット
都政モニターアンケート結果

食品の安全性について

今回の調査は、インターネット都政モニターを対象に、食品の安全性に対する関心や、食品の安全性を確保するために取り組むべきことなど「食品の安全性」について聞き、今後の都政運営の参考とするものです。

【調査結果のポイント】

- 食品の安全性に対する関心の有無 — 「関心がある」 98% (本文 P3)
- 食品の安全性について不安に思うこと (P5)
 - 第 1 位 食品添加物 52%
 - 第 2 位 残留農薬 42%
 - 第 3 位 食中毒（O157、ノロウイルス等） 41%
- 食品の安全性を高めるために有効な対策 (P10)
 - 第 1 位 食品のトレーサビリティ（製造や流通の履歴を記録し、問題発生時に速やかに追跡・回収などができる仕組み）を充実させていくこと 48%
 - 第 2 位 食品関係事業者（生産者、製造者、流通業者、販売業者）が自主管理を強化すること 39%
 - 第 3 位 行政機関の監視・検査体制を充実させること 31%
- 食品表示が分かりにくいと感じることがあるか (P15)
 - よく感じる 25%
 - 食品によっては感じることもある 64%
 - 特に分かりにくいと感じることはない 11%
- 分りにくいと感じる点 (P17)
 - 「よく感じる」「食品によっては感じることもある」を選んだ人（434 人）に聞いたところ
 - 第 1 位 分かりにくい用語で書かれている 61%
 - 第 2 位 表示文字が小さすぎる 50%
 - 第 3 位 書かれている内容が多すぎる 43%
- 食品の安全性をより確保するために東京都が取り組むべきこと (P20)
 - 第 1 位 食品表示の適正化 59%
 - 第 2 位 輸入食品に対する監視指導 57%
 - 第 3 位 O157、ノロウイルス等の食中毒対策 34%

※インターネット都政モニターは、インターネットが使える 20 歳以上の都内在住者を対象に、性別、年代、地域等を考慮して 500 人を選任。

《問い合わせ先》
生活文化局広報広聴部都民の声課
電話：03-5388-3139

調査実施の概要

1 アンケートテーマ

食品の安全性について

2 アンケート目的

食品の安全性に対する意識を把握し、今後の都政運営の参考とする

3 アンケート期間

平成25年7月19日（金）正午から 平成25年7月25日（木）正午まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する

5 インターネット都政モニター数

500人

（インターネット都政モニターは満20歳以上の都民を対象に年度ごとに公募）

6 回答者数

486人

7 回答率

97.2%

食品の安全性について

1 調査項目

- Q1 食品の安全性に対する関心の有無
- Q2 食品の安全性について不安に思うこと
- Q3 食品購入時の安全性への考慮
- Q4 食品購入時に食品の安全性を判断する事項
- Q5 食品の安全性確保のために重要と考える段階
- Q6 食品の安全性を高めるために有効な対策
- Q7 食品の安全性に関する情報の情報源
- Q8 食品購入時の表示確認の有無
- Q9 確認する食品表示の内容
- Q10 食品表示が分かりにくいと感じることの有無
- Q11 食品表示の分かりにくい点
- Q12 外食時に店を選ぶ基準
- Q13 自主的衛生管理の認証取得施設に対する印象
- Q14 食品の安全性をより確保するために東京都が取り組むべきこと
- Q15 食品の安全性や食に関わることについての自由意見

2 アンケート回答者属性

区 分		n	%
全 体		486	-
性別	男 性	239	49.2
	女 性	247	50.8
年代別	20 代	60	12.3
	30 代	98	20.2
	40 代	97	20.0
	50 代	68	14.0
	60歳以上	163	33.5
職業別	自営業	43	8.8
	常 勤	166	34.2
	パート・アルバイト	54	11.1
	主 婦	120	24.7
	学 生	30	6.2
	無 職	73	15.0
居住地域別	区部	342	70.4
	市町村部	144	29.6

※ 集計結果は百分率 (%) で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 回答方法・・・(3MA) = 3つまで選択、(MA) = いくつでも選択

東京都は、平成 17 年 3 月に 5 か年の計画として「東京都食品安全推進計画」を策定し、生産から消費までのそれぞれの段階での食品の安全確保に関する施策を推進してきました。

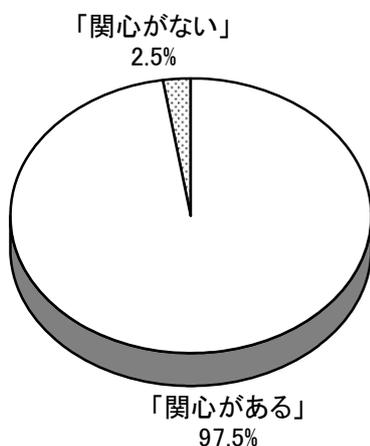
さらに、平成 22 年 2 月、東京都食品安全推進計画を改定し、3 つの施策の方向性（①事業者のコンプライアンス意識を高め、自主管理向上のための施策の充実を図る。②健康被害の未然防止・拡大防止に力点を置いた施策の充実を図る。③食の信頼確保に向けた都民への情報提供の充実を図る。）に即した施策の充実を図ってきました。

今回、東京都食品安全推進計画の改定（計画期間：平成 27 年度～）に向けて、食の安全や信頼性の確保をさらに推進していく施策づくりの参考とするため、食品の安全性をテーマに都政モニターの皆様のご意見をお聞きします。

<食品の安全性に対する関心の有無>

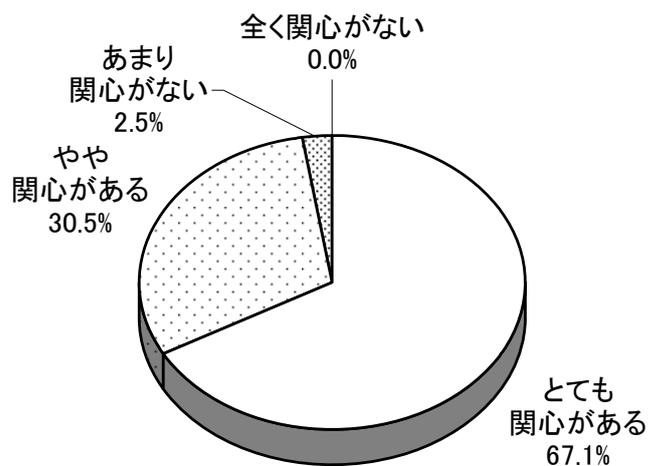
Q1 あなたは食品の安全性について関心はありますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 486)

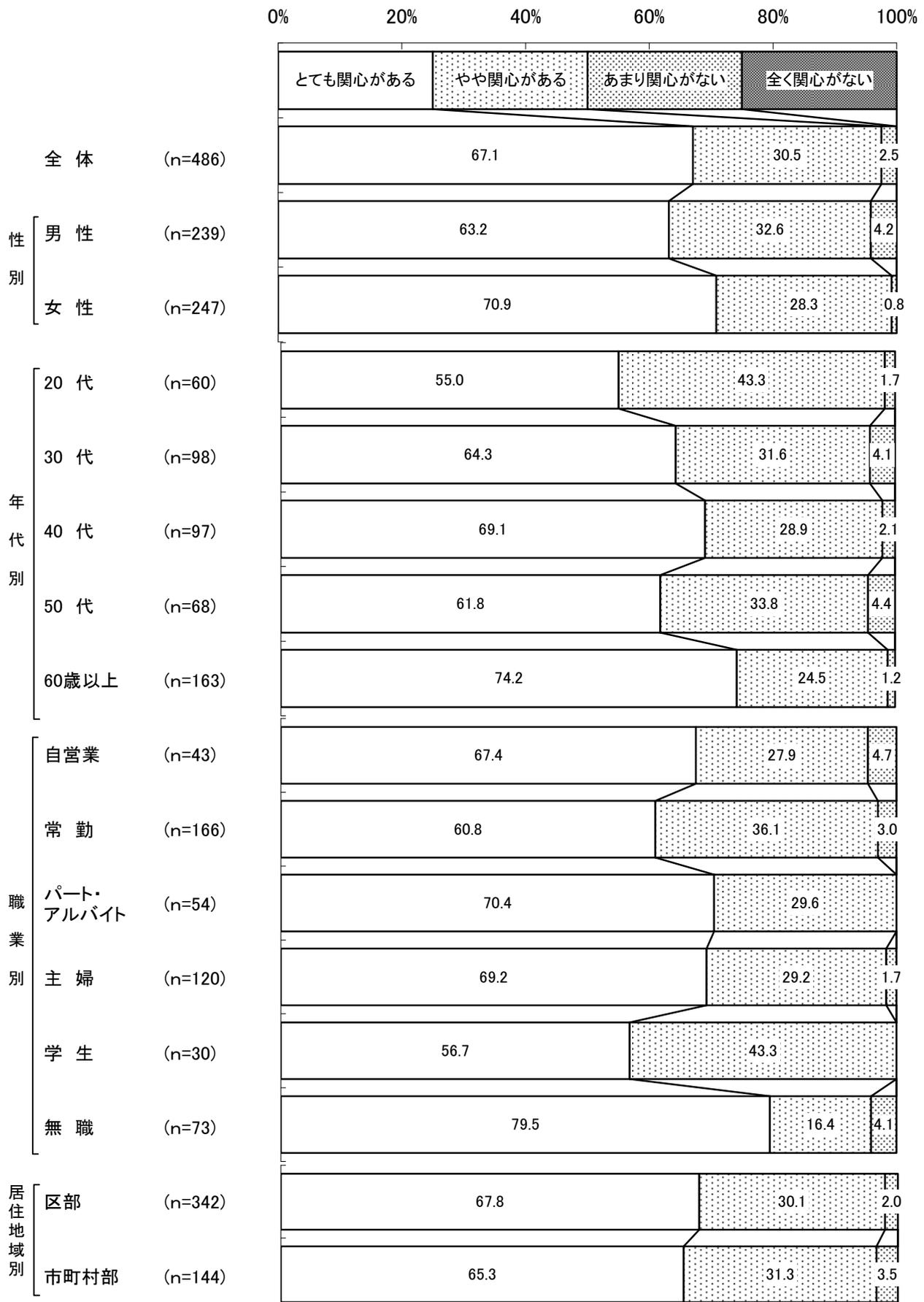


『関心がある(計)』(97.5%) = 「とても関心がある」 + 「やや関心がある」

『関心がない(計)』(2.5%) = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

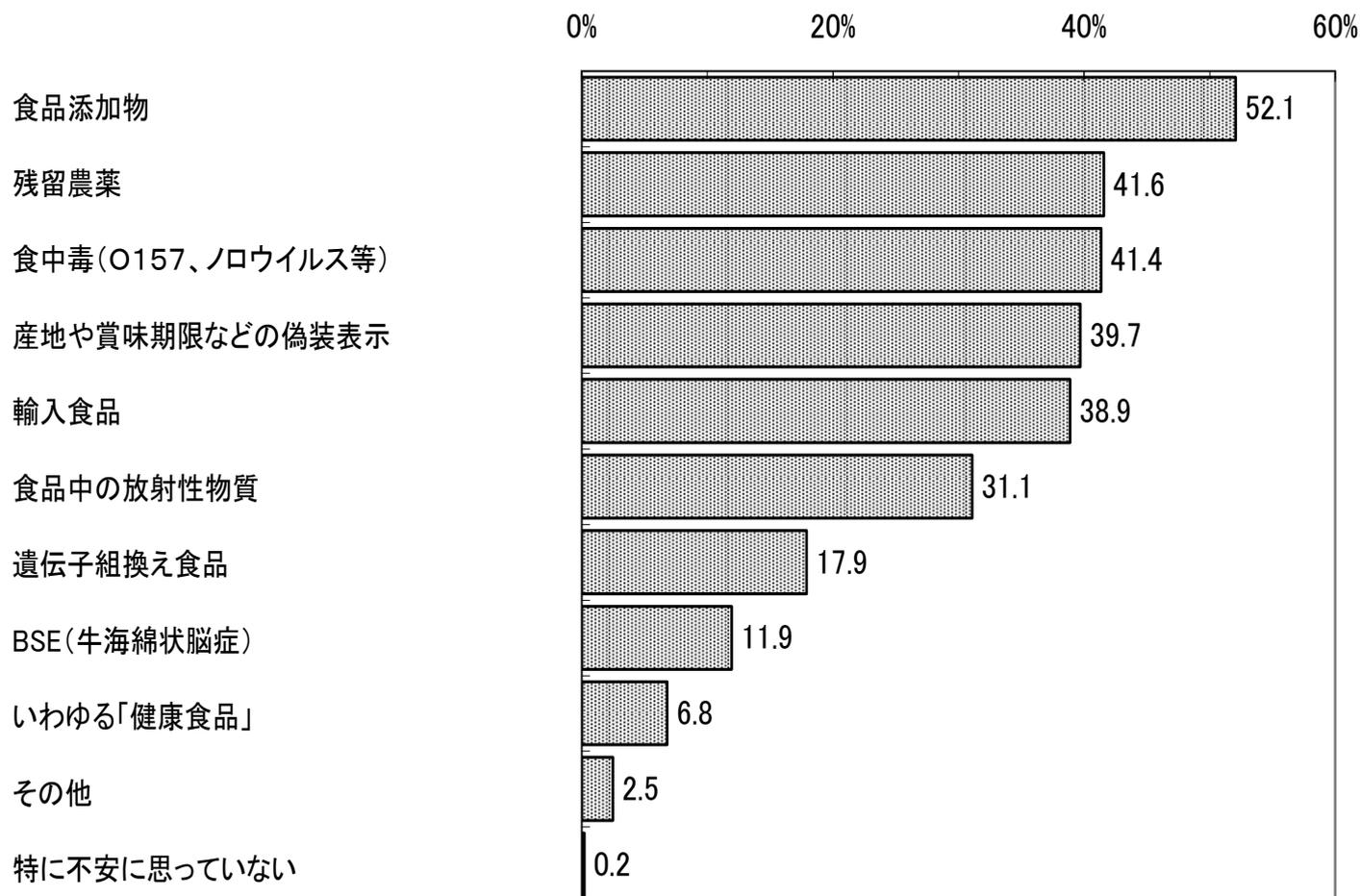


＜食品の安全性に対する関心の有無・・・属性別＞



<食品の安全性について不安に思うこと>

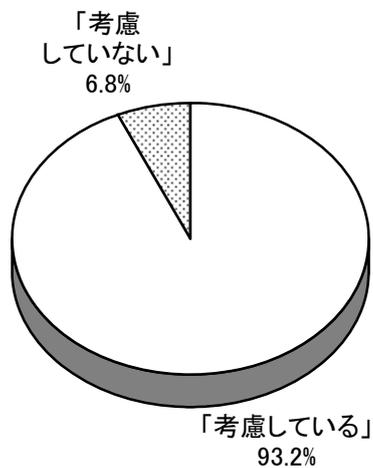
Q2 食品の安全性について、あなたが特に不安に思っていることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。
(3MA) (n = 486)



<食品購入時の安全性への考慮>

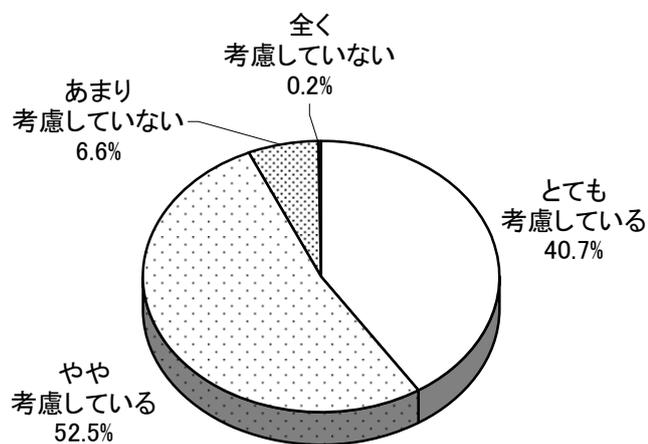
Q3 あなたは食品を購入する時に、食品の安全性を考慮していますか。次の中から1つ選んでください。

(n = 486)

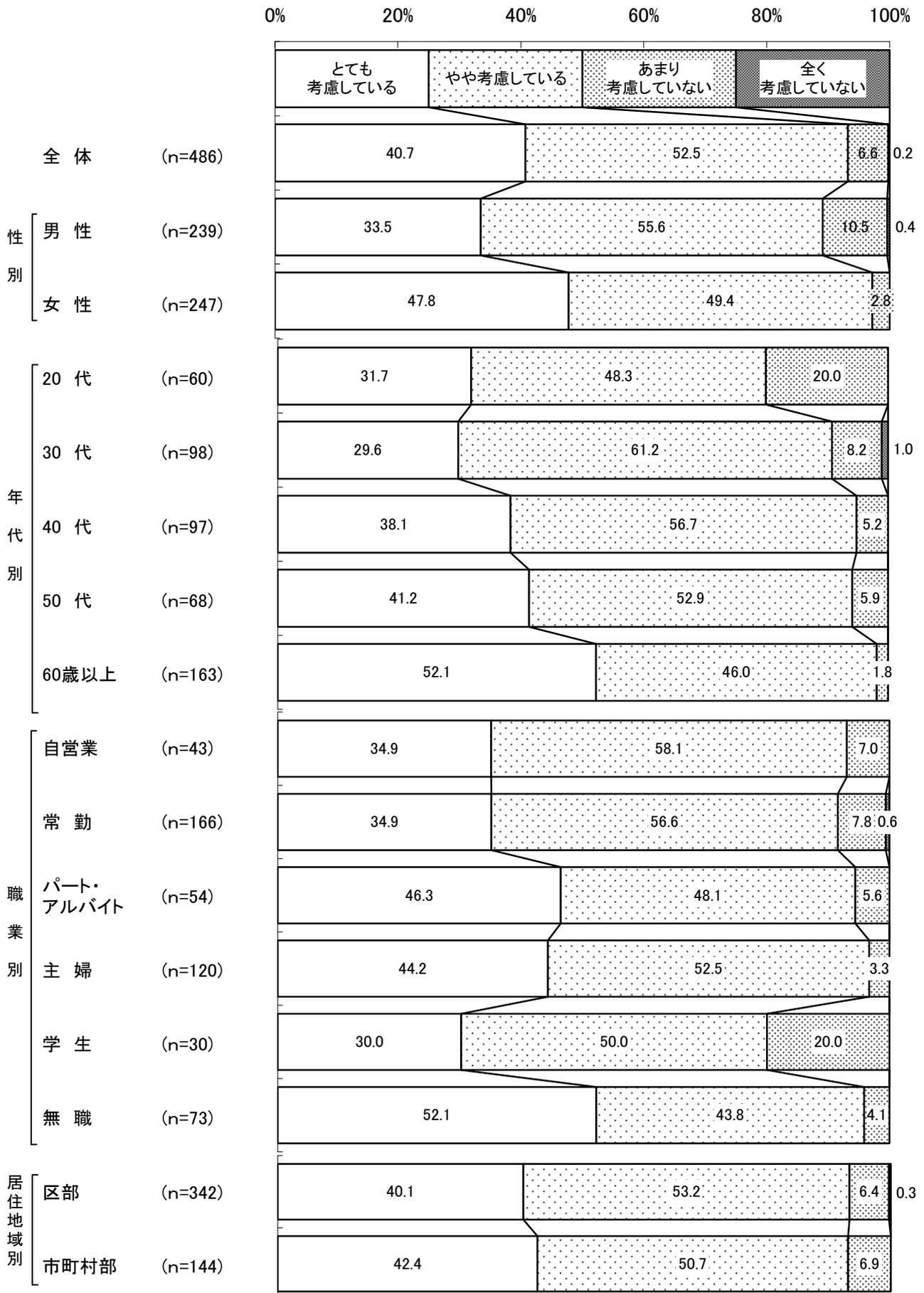


『考慮している(計)』(93.2%) = 「とても考慮している」 + 「やや考慮している」

『考慮していない(計)』(6.8%) = 「あまり考慮していない」 + 「全く考慮していない」

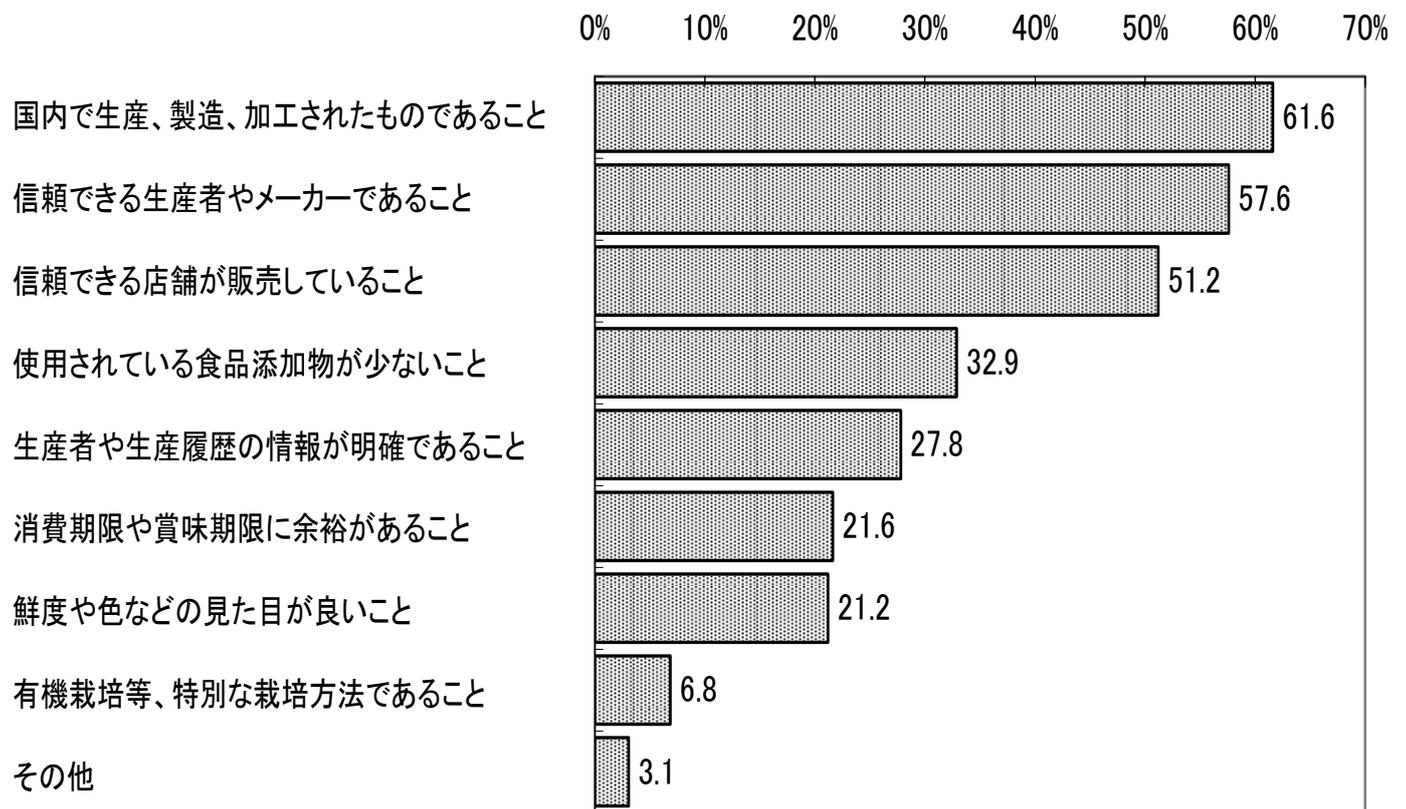


<食品購入時の安全性への考慮・・・属性別>



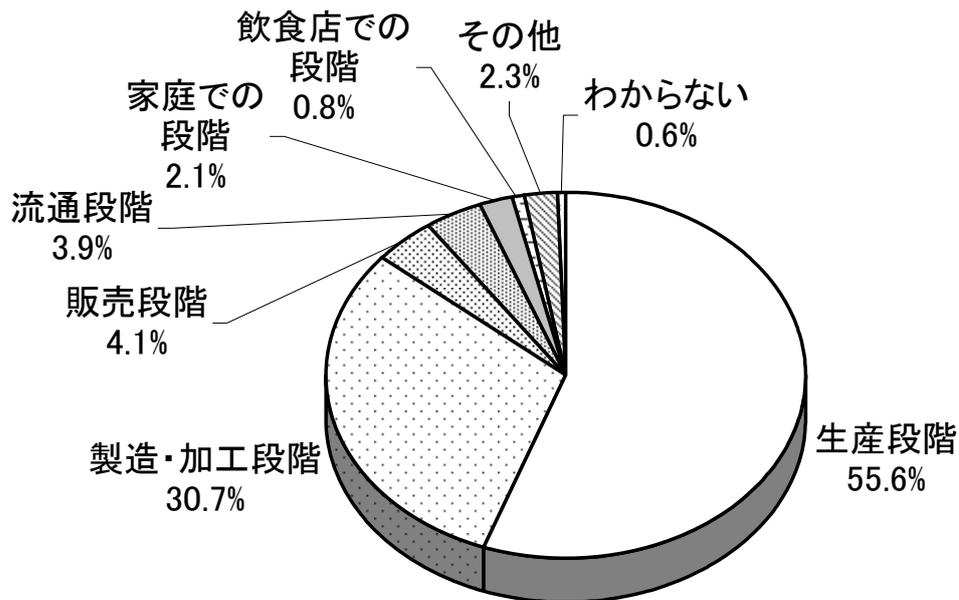
<食品購入時に食品の安全性を判断する事項>

Q4 (Q3で、「とても考慮している」又は「やや考慮している」を選んだ方にお聞きします。)
食品の安全性について、どのように判断していますか。次の中から3つまで選んでください。
(3MA)(n=453)



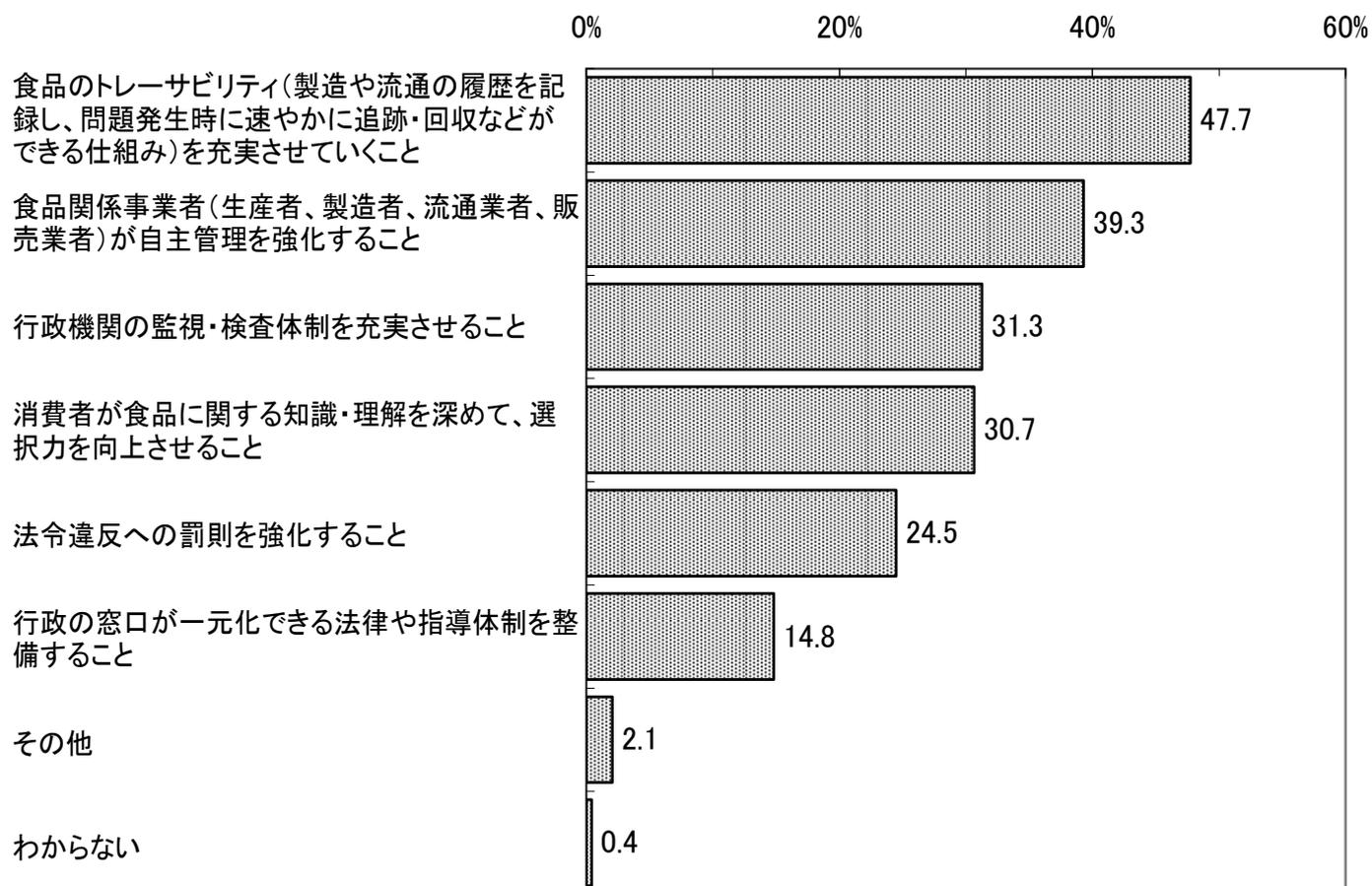
<食品の安全性確保のために重要と考える段階>

Q 5 食品の安全性を確保するためには、食品の生産から消費までのうち、どの段階が最も重要と考えますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 486)



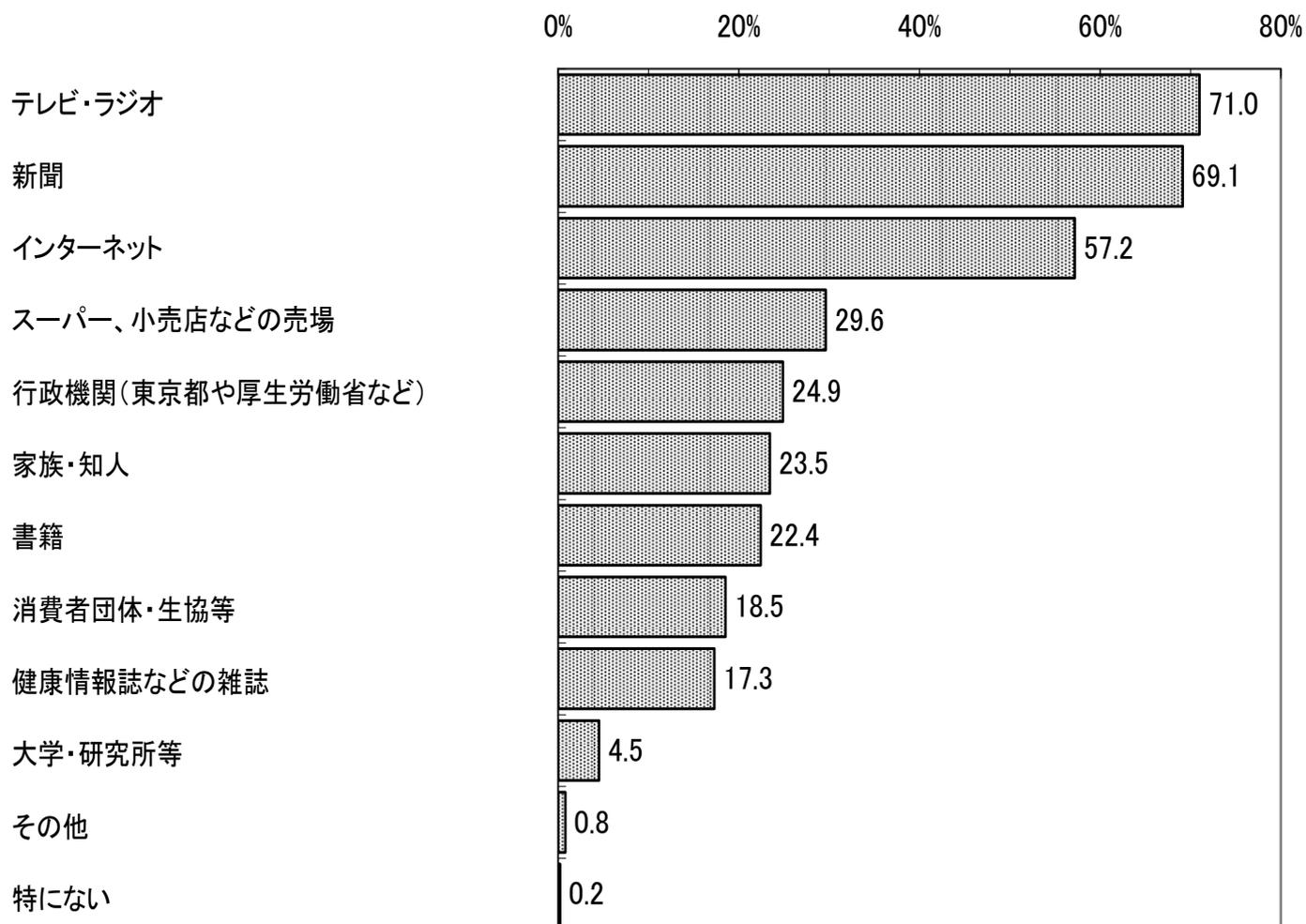
＜食品の安全性を高めるために有効な対策＞

Q6 今後、食品の安全性をより一層高めるために、あなたが有効と考えるものは何ですか。次の中から2つまで選んでください。(2MA) (n=486)



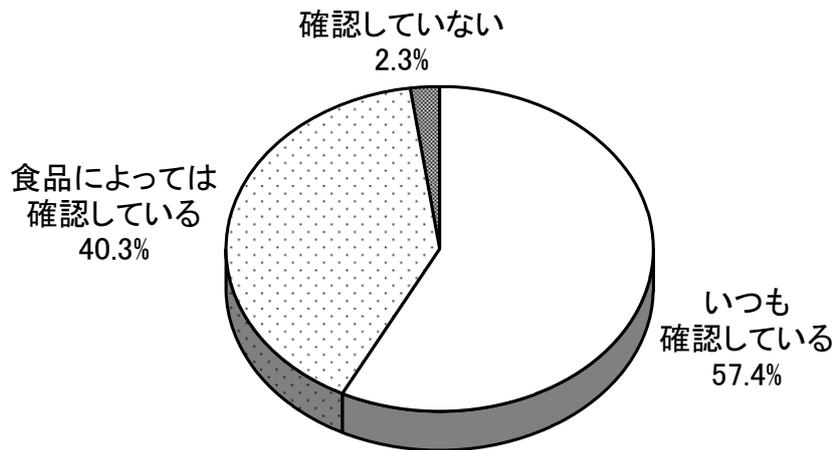
<食品の安全性に関することの情報源>

Q7 あなたは、食品の安全性に関する情報について、どこから得ることが多いですか。次の中からいくつでも選んでください。
(MA) (n = 486)

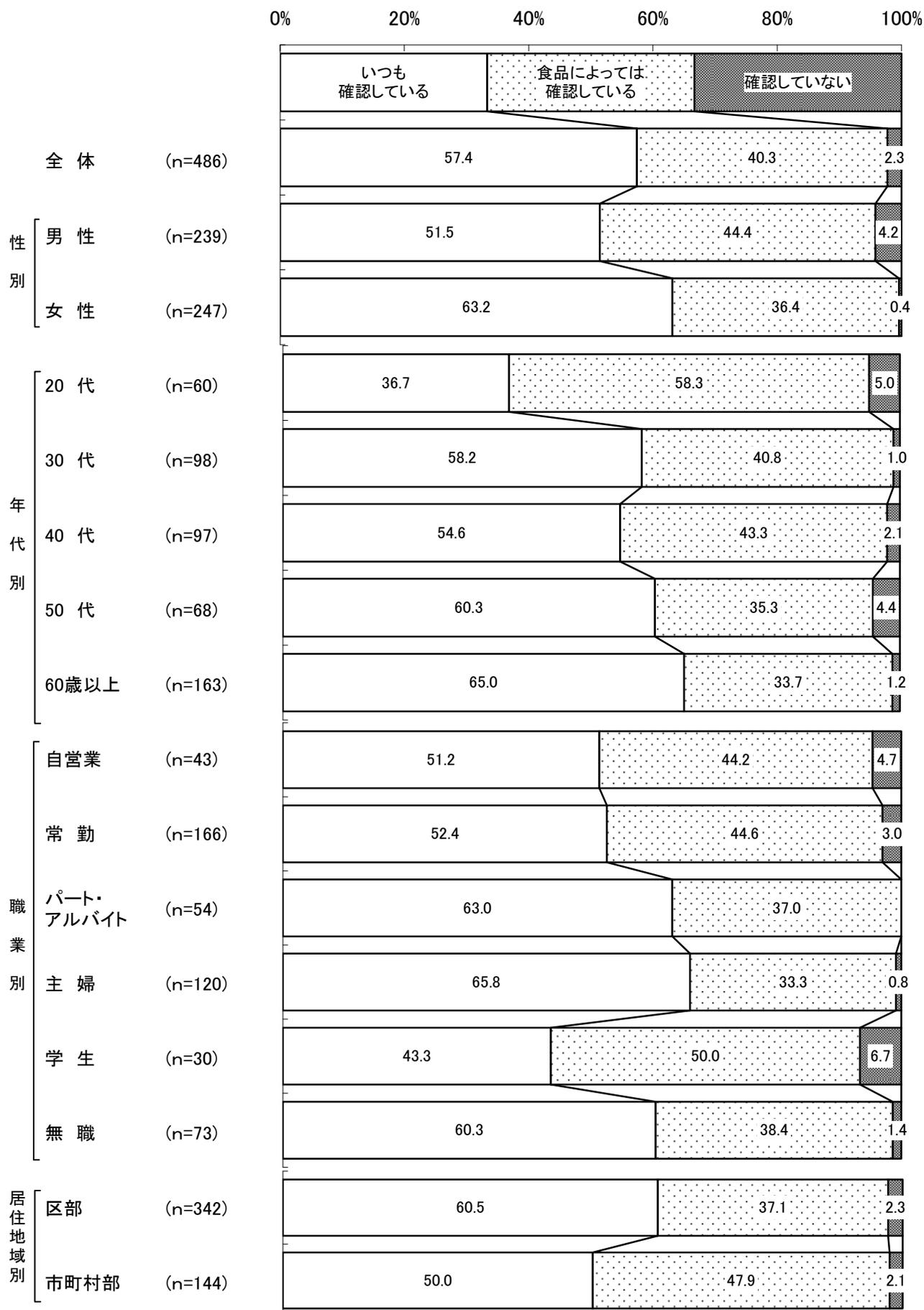


<食品購入時の表示確認の有無>

Q 8 あなたは食品を購入するときに、食品の表示（原材料や産地など）を確認していますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 486)



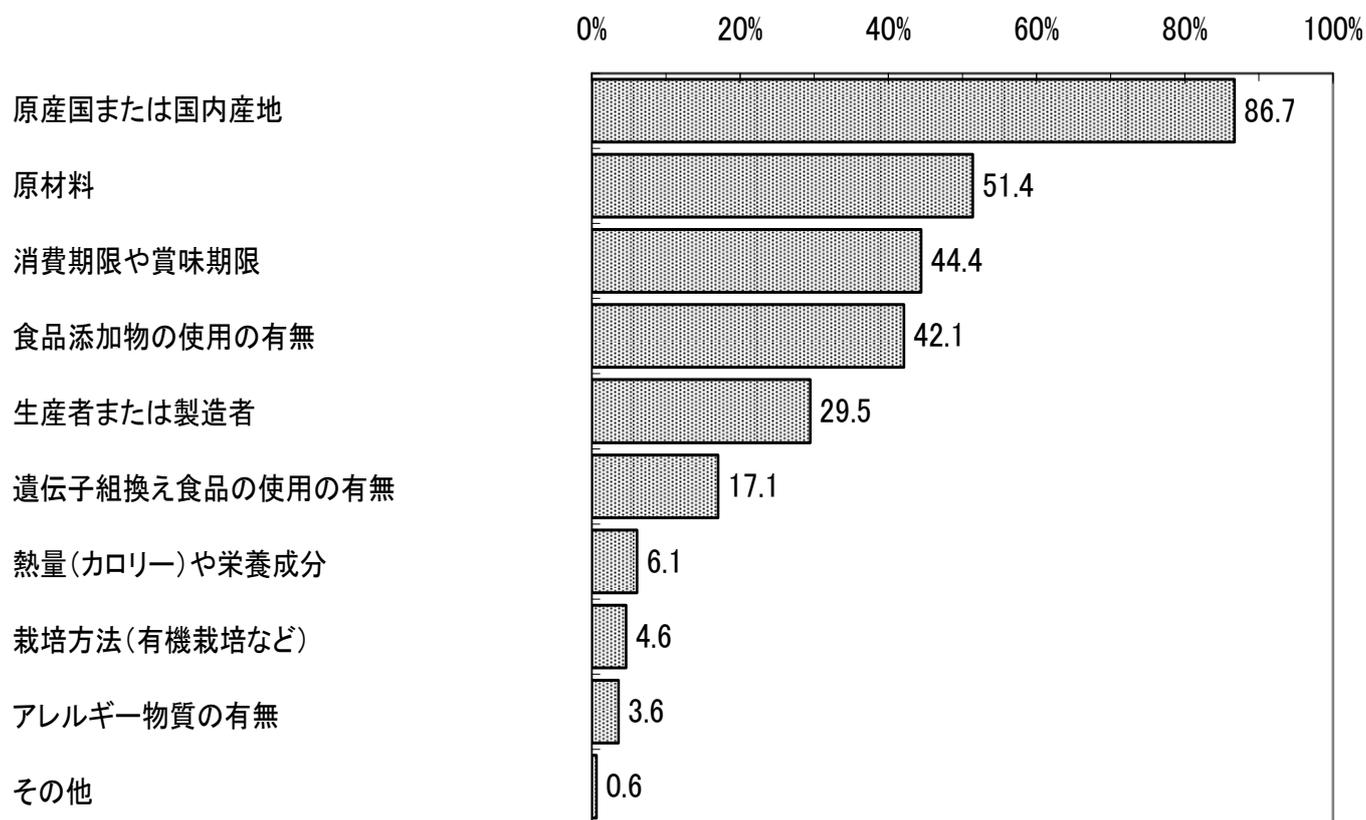
<食品購入時の表示確認の有無・・・属性別>



<確認する食品表示の内容>

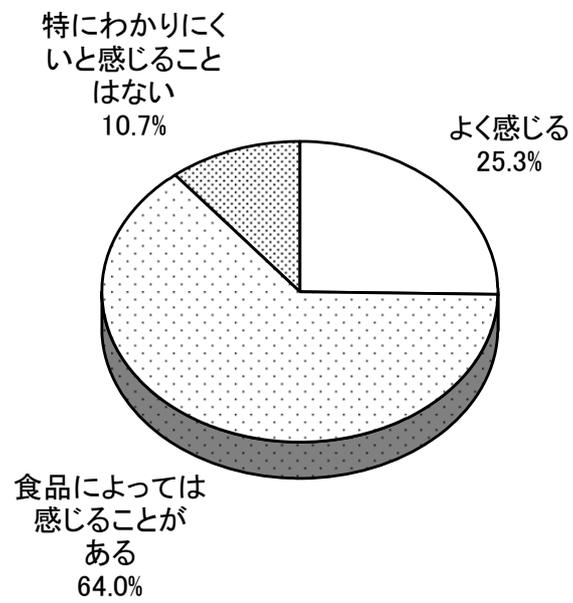
Q9 (Q8で「いつも確認している」又は「食品によっては確認している」を選んだ方にお聞きします。)

あなたは食品の表示を確認するときに、どのような項目が重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。(3MA) (n=475)

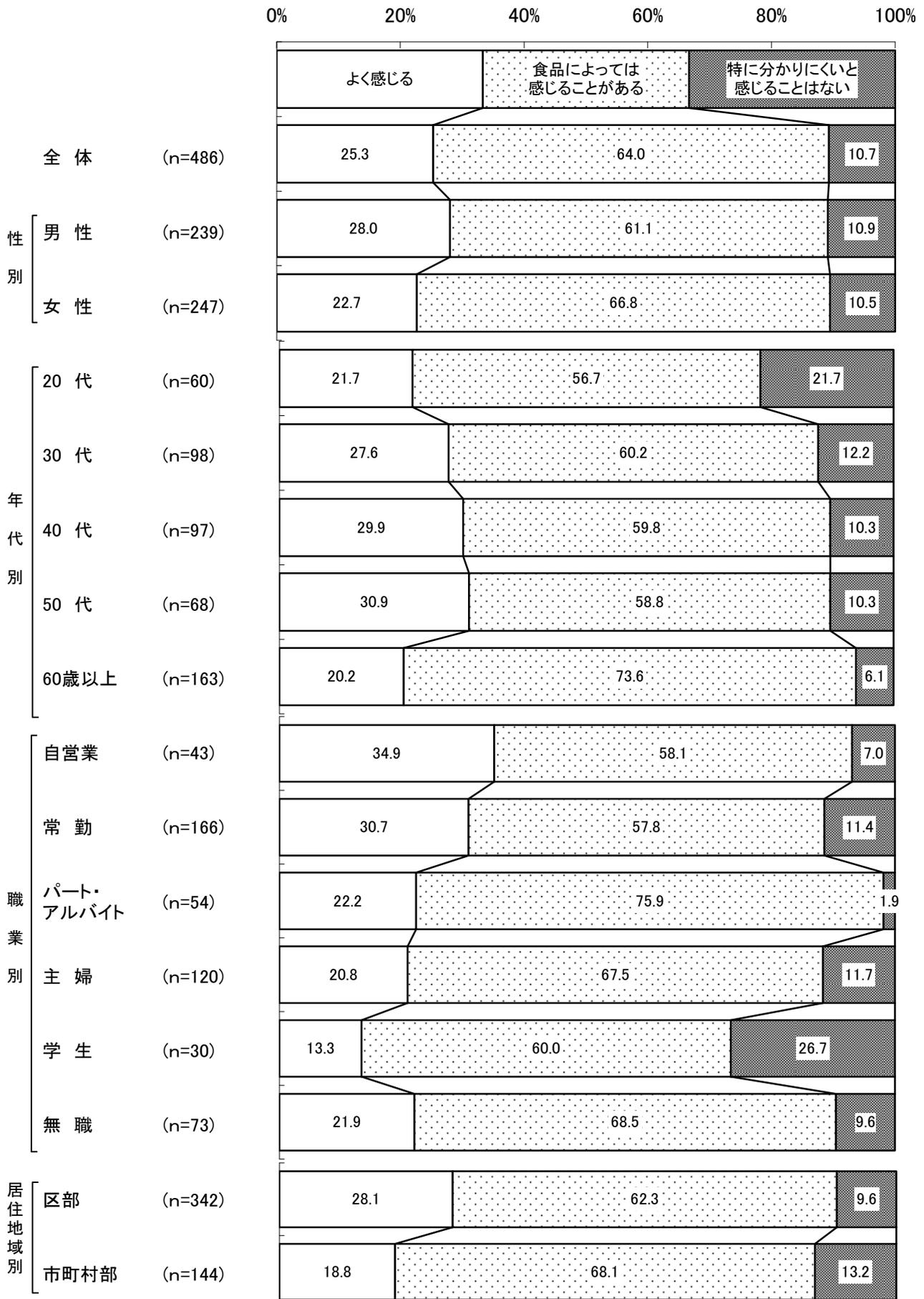


＜食品表示が分かりにくいと感じることの有無＞

Q10 あなたは、食品の表示について分かりにくいと感じることはありますか。次の中から1つ選んでください。 (n=486)



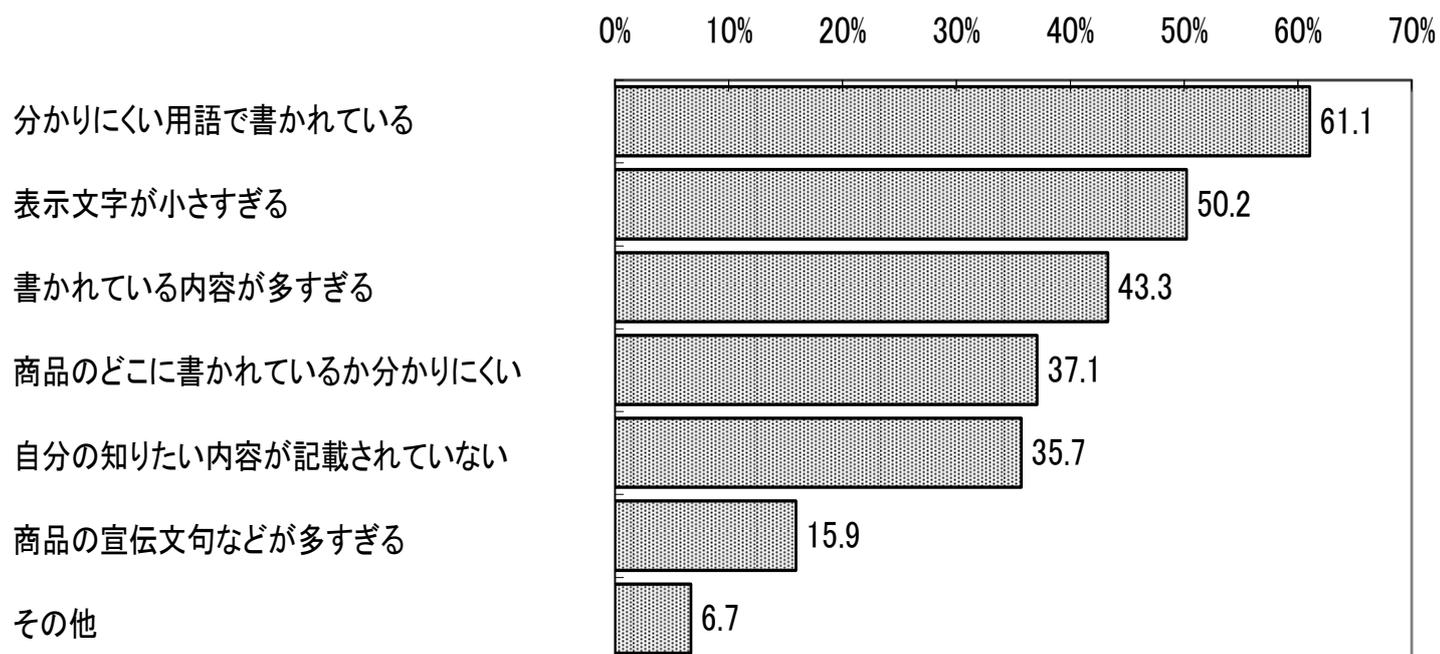
<食品表示が分かりにくいと感じることの有無・・・属性別>



<食品表示の分かりにくい点>

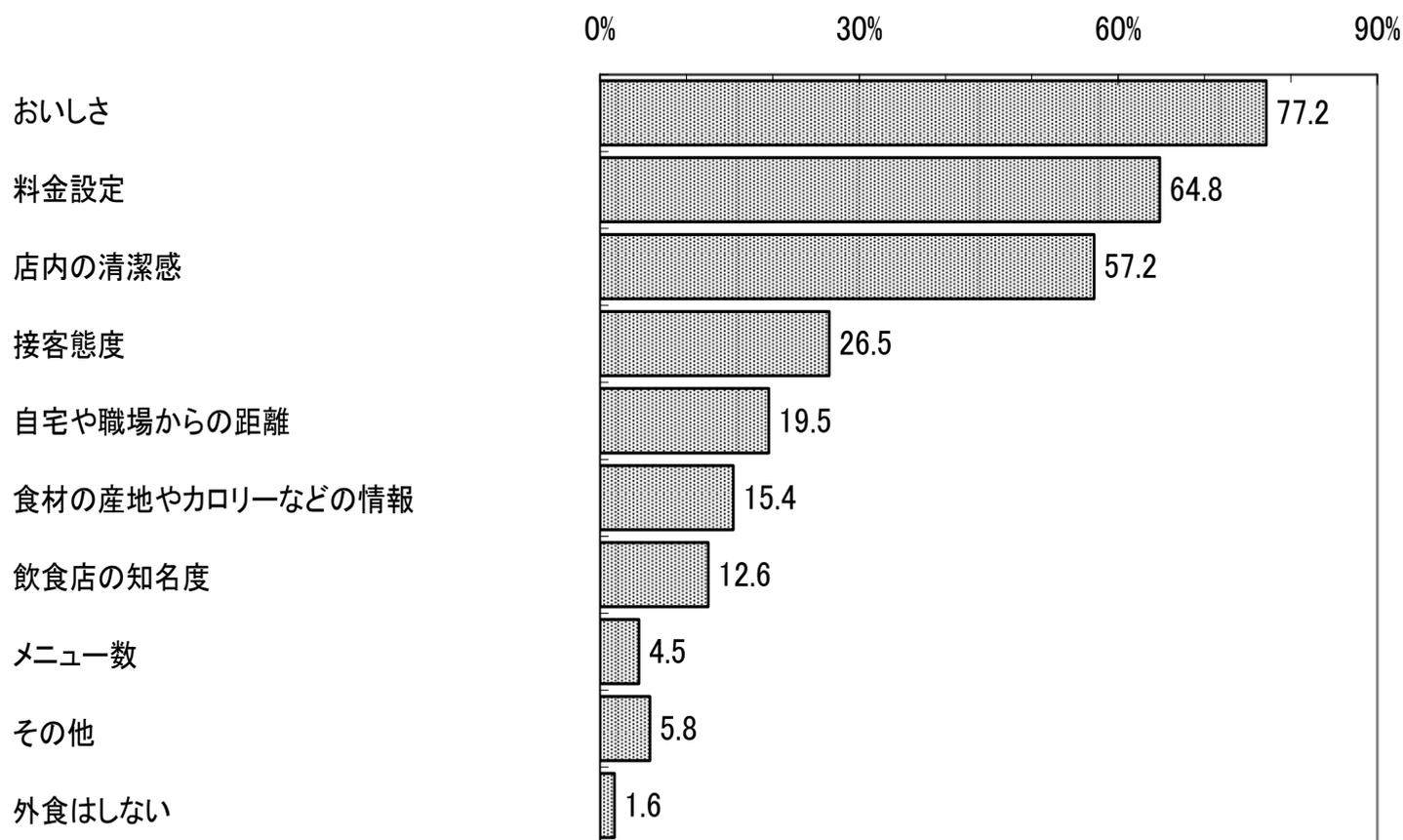
Q11 (Q10で「よく感じる」又は「食品によっては感じることもある」を選んだ方にお聞きします。)

あなたが食品の表示について「分かりにくい」と感じるのは、主にどのような点についてですか。
次の中からいくつでも選んでください。 (MA) (n=434)



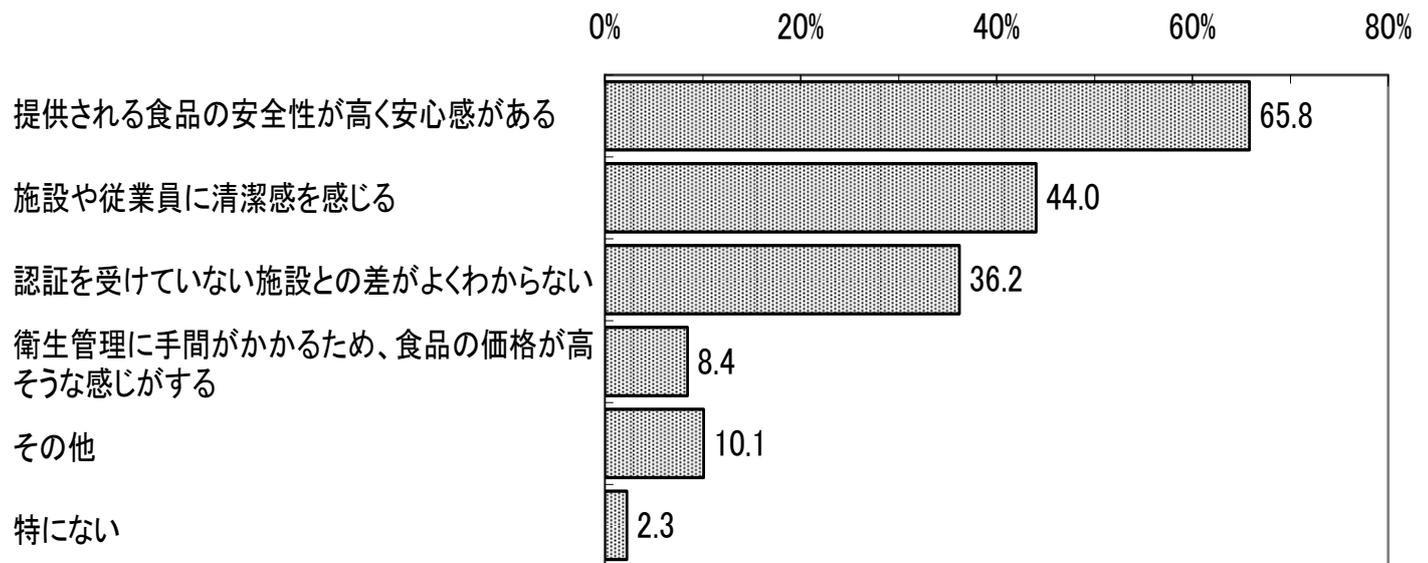
< 外食時に店を選ぶ基準 >

Q12 あなたは、外食する際に、どのような視点からお店を選んでいきますか。次の中から3つまで選んでください。
(3MA) (n=486)



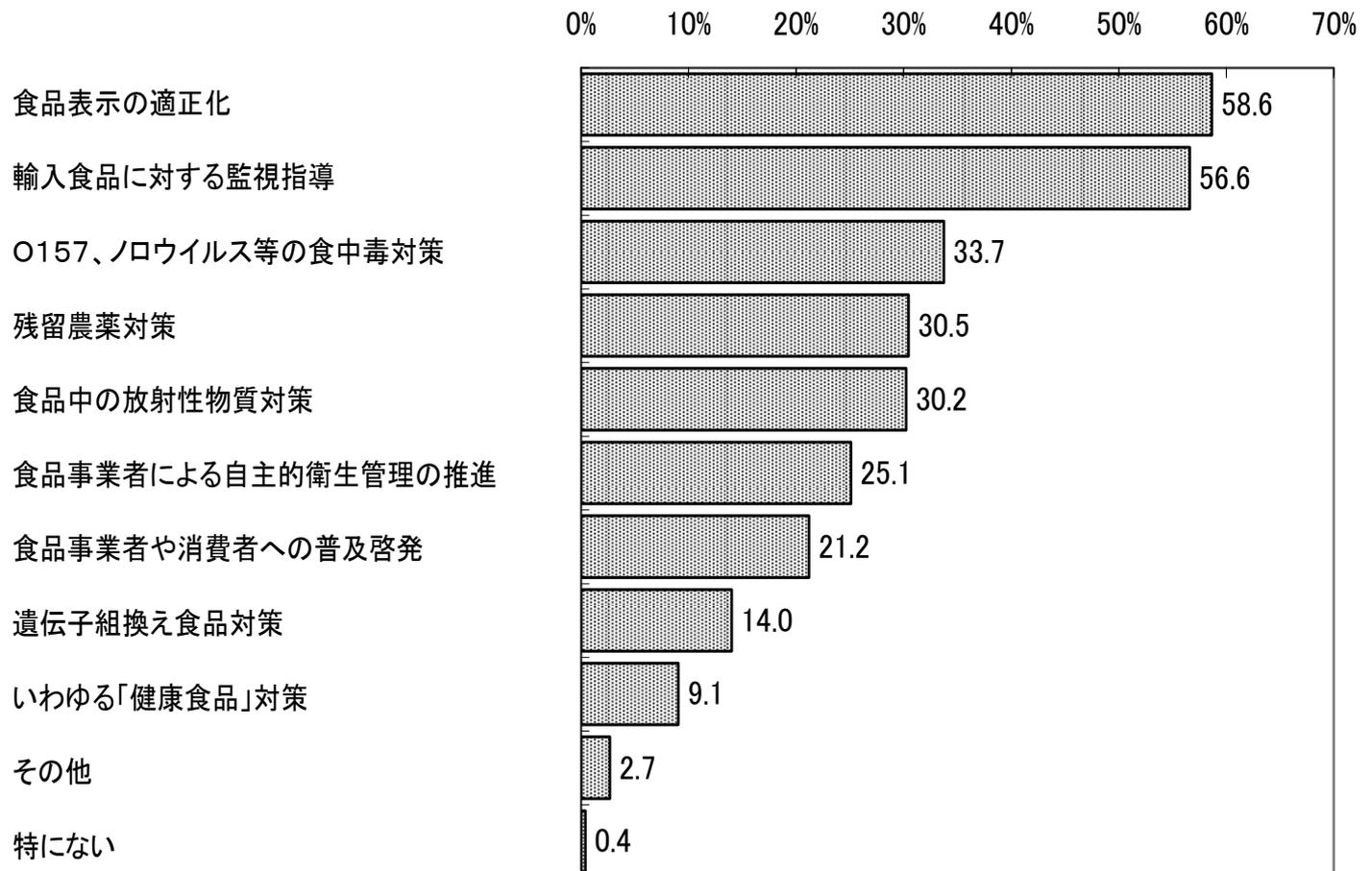
<自主的衛生管理の認証取得施設に対する印象>

Q13 東京都では、飲食店や食品工場、スーパーなどが行う自主的な衛生管理の取組を推進するため、法律で定められた基準よりも高いレベルの衛生管理に日々取り組んでいる食品施設を認証し、都民の皆様に公表する制度を設けています。この認証を受けているお店や工場にどのような印象を持ちますか。次の中から2つまで選んでください。(2MA) (n=486)



<食品の安全性をより確保するために東京都が取り組むべきこと>

Q14 食品の安全性をより確保するために、東京都がさらに強化すべき取組は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。(3MA) (n=486)



<食品の安全性や食に関わることについての自由意見>

Q15 あなたが、食品の安全性や食に関わることについて日頃から考えていることやご意見がありましたら、自由にお書きください。 (n = 428)

(1) 行政の取組について	161件
(2) 食品の表示について	88件
(3) 家庭での取組について	64件
(4) 輸入食品や食品の産地について	58件
(5) 食品の製造者や販売店等に望むこと	53件
(6) その他	4件
	合計428件

<主なご意見>

(1) 行政の取組について 161件

○食品の安全性を見極めるには、生産、流通、消費のルートでの監視、確認が必要であり、行政機関での管理、確認がとても重要である。 (男性、30代、国分寺市)

○消費者が関与できない生産段階などのトレーサビリティには行政などが注力してほしい。 (女性、30代、中央区)

○どのようなルートを通して消費者の手に届いているのか、実際にはよく分からない製品が多いと思います。加工された業者はわかっても、その材料はどこでつくられたのか、本当に国内産なのか、表示だけでは把握できない部分があると思います。安全上全く問題がなければいいのですが、やはり毎日消費するものですので、行政がきちんと管理・監視をし、安全上好ましくないとされる業者などについては、迅速かつ適切な処置を行うような仕組みを強化してほしいです。また、食品の安全に関して、もっと消費者の意識が高くなるような、取り組みや広報も必要かと思います。(男性、20代、豊島区)

○食の安全が脅かされていると痛感している。輸入食品、遺伝子組換え食品、添加物、などなど、心配なことがたくさんあります。私たち消費者は、産地や原材料など、食品に書いてあることを信じるしかないので、行政で表示に誤りがいないか、とか、ウソの表示をしていないか、とか徹底的に調査し、違反した業者には厳しい罰則を与えて欲しい。 (女性、60歳以上、墨田区)

○見た目では安全性はわかりづらいですし、表記や原産地等は悪意を持って偽装されたら、わかりません。輸入食品等は輸入段階での検査や規制や罰則規定を、生産者や加工者や販売者については、罰則が全てとは思いませんが罰則の強化と、モラルの向上を啓蒙していく必要があると感じています。 (男性、40代、新宿区)

○産地偽装問題は消費者からは対策のしようがないので行政側からのアプローチを強化してほしい。 (男性、20代、世田谷区)

○食品は一人ひとりの生命維持に大きく影響する問題です。故意に違反した場合の罰則があまり厳しくないように感じます。 (女性、60歳以上、杉並区)

○有機栽培とそうでない食品の違いは安全性は変わりなく味の優劣と認識していますが、健康を害する食材が出回らないよう管理に努めて欲しいと思います。添加物に関する情報は安全な物の品名と用途

について広く都民に知らしめて欲しいと思います。(女性、60歳以上、三鷹市)

○食品の安全性については日頃考えていたものの、東京都が取り組んでいるとは思いませんでした。消費者には目には見えない危険がたくさんあるので、頑張っただけで欲しいと思いました。(男性、20代、品川区)

○スーパーなどへの抜き打ち立入検査を実施して欲しい。(男性、50代、武蔵野市)

○そもそも何を指して安全と呼ぶのかよくわからないところがある。残留農薬や、添加物にも“基準値”があるが、その基準値も何が基準かよくわからない。(男性、20代、新宿区)

○食の安全は消費者だけではチェックできないことが多いと思います。行政と一緒にチェックする体制ができればいいと思います。(男性、40代、豊島区)

○ある部分は潔癖なのかもしれないけれど、添加物が多かったり、目に見えない残留農薬・放射能など目に見えない部分で不安はたくさんあります。なるべく、行政によるチェック等で安心安全な食を守っていただきたいです。(女性、40代、目黒区)

○添加物の発がん性の問題、人工甘味料の問題など、これらの問題点を知らない消費者が多いと思われる。あるいは、おぼろげながら聞いたことはあるが、たいしたことはないだろうと積極的に知ろうとしない人も多いように思われます。難しい問題もあるかと思いますが、消費者が問題点を知ったうえで選択ができるよう、そのために東京都は何ができるかを考えていく必要があると思います。

(男性、50代、中央区)

○都の認証制度の内容を消費者にもわかりやすく広報することも、必要と考える。(男性、60歳以上、港区)

○人間形成に必要な食品の安全性は私たちにとってとても不可欠なものであり、管理する所轄官庁の厳しい目を期待します。安心して食が出来ることはとても喜ばしいことです。(女性、60歳以上、杉並区)

(2) 食品の表示について 88件

○日本のように、様々な食品が日々生産され、店頭にならんでいると、つい忙しさにまぎれ、じっくり見て買うことがむずかしいです。見やすく、わかりやすい表示をおねがいたします。

(女性、60歳以上、杉並区)

○大事なことこそ、小さな字でわかりにくい説明です。誰にでもわかることばで、見やすい位置であってほしいです。(女性、30代、多摩市)

○スーパーでの、魚や肉などのパックに表示されている内容がわかりにくい。国産、外国産、解凍、生など国産の場合、どこの県かの表示もないスーパーもある。子供がいるので、安さより産地や鮮度などが気になるので、もう少しわかりやすい表示を徹底して欲しい。パックに一つ一つ印字されていなくても、その日の産地や情報を売り場に展示してくれたら助かります。(女性、30代、足立区)

○行政や事業者が伝えたいために記載していることと、自分の理解が同じかどうか心配。表示内容、見方を統一して、理解が深まるようにして欲しい。(男性、40代、世田谷区)

○「惣菜」に分類される商品に使われる野菜等の原産地が表示されていないことが不満です。

(男性、20代、大田区)

○アレルギーによるアナフィラキシーショックを防ぐため、加工食品などの原材料は出来るだけ細かく表示してほしいと思う。特に外食では、調理中の調味料や原材料などの情報を客が知りたいときは、すぐ見せてもらえると、アレルギーがあるかたでも安心できるのではないかと思う。

(女性、40代、八王子市)

○マーケット、コンビニや外食も含めて、加工食品については、カロリー、脂質や塩分の表示をなるべくお願いしたいです。食事制限をされている方も、多いのではないかと思います。

(女性、50代、北区)

○加工食品については産地などが書かれていないことが多く製造は日本であっても使われている原材料はどこのものかが分からないのでせめて主要材料だけでもわかればと思います。(女性、50代、新島村)

○原材料地と加工地が異なるとき、注意深く表示を見ます。原材料には、聞き慣れないものもあり、食品添加物に至っては、どういう危険があるのか全く分かりません。東京都の広報等で、食品表示の見方を知らせてほしいです。(女性、50代、渋谷区)

○消費者からは安全性が確認しにくいいため、生産・流通段階での安全確認の徹底とそれが判別できる表示をお願いしたい。(女性、60歳以上、品川区)

○賞味期限が過ぎても保存方法によって、消費期限が異なると思うが、例えば常温・冷蔵・冷凍それぞれの保存によってどのように変わるのか知りたい。(男性、60歳以上、台東区)

(3) 家庭での取組について 64件

○とりあえず、賞味期限はしっかりチェックしています。食品添加物や原材料地、生産地なども余裕があれば、見てから買うようにしています。行政や飲食店、スーパーなどが気をつけるのも大切ですが、個人個人で考えるようにすることの方が今は重要な気がします。(女性、20代、文京区)

○安さ手軽さに惑わされることなく、良い商品を提供してくれている店舗で商品を購入しています。(女性、60歳以上、足立区)

○食品の安全に関する嫌な事件がおきるとしばらくは神経過敏になり該当する食品をさけたりはしますが、通常は暢気に食品の表示を信じ、100%信じられなくても、自衛としては過度に安価なものを買わないとか、同じ食品を過度に食べ続けたりしないことである程度の安全は保たれるのではと考えています。(女性、60歳以上、町田市)

○手軽で美味しく手に入る食品が増える一方、その食品の裏面を見ると、食品添加物の使用の多さに驚くことがあります。普段からなるべく食品添加物量の少ない商品を選んでいきます。(女性、20代、小平市)

○食べ物は身体を作る基本だと思うので、まず国産であること、極力添加物の少ない、無農薬であるものを選ぶようにしている。そして、調理にあたり調味料にも気をつけている。白いもの(白米、白砂糖など)も取らず、玄米菜食を心がけている。(女性、40代、渋谷区)

○小学生の子供がいるため、大人以上に気を使いたい、ある程度の割り切りがないと経済的にも食材の種類にしても食べるものが少なくなってしまう。(男性、40代、杉並区)

○妊娠～出産、子育てを機に食品購入の際に原産地・原材料などを確認してから購入するようになりました。なるべく添加物の少ないものや国産のものと心掛けています。値段のお安いものは確かに家計には助かるのかもしれませんが、安全なものを適正価格で販売→購入→消費するサイクルができるといいなと思います。ここ最近では格安・激安などが取り上げられていますが、提供する側にはコストの負担がかかると思いますし、消費者の食の安全にも不安を感じることもあるので、このような風潮はなくなるといいなと思います。(女性、30代、八王子市)

○子供が生まれてから特に食品の原材料等に気を使うようになりました。(男性、40代、調布市)

○国内産の物で消費期限を気にして、自宅での保存方法に気をつけている。(女性、40代、昭島市)

○衣食住は、生きていくには欠かせない重要なものです。安全なものを食べなければ、かからなくても

良い病気にかかるリスクも考えられます。私たち都民は口に入るものを今一度真剣に考えていかなければなりません。おいしい口当たりの良いものが、はたして10年後にどんな病気として自分にふりかかってくるかを家族で考えてみるのもいいかもしれませんね。食への意識を少しでも高めていきたいです。
(男性、50代、杉並区)

(4) 輸入食品や食品の産地について 58件

- これから先、輸入食品が増え、安全性が問われる。トレーサビリティ、国内検査が重要だ。その上で、安価であれば、生活の一助になると考える。
(男性、60歳以上、足立区)
- 輸入されてきているものが多いので、海外の生産情報などよくわからない。
(男性、30代、中央区)
- 子供がいるため、食料品は少々高くても国産にしています。しかし、スーパーのお惣菜や半調理品等は原材料の産地がわかりません。食事は毎日のことですから、手抜きをしたときもあります。ただ、小学校給食で地元産の野菜を積極的に取り入れていただけてまして、親としてとても安心しております。
(女性、30代、府中市)
- 食品は原則的に地産地消を目指すべきだと思う。遠い場所から運ぶ(輸入を含めて)のは資源的にも問題が多い。安全性は単に”価格”だけでは確保されないと、消費者も覚悟すべきだ。大量に食べる人はわずか。普通の人間が食べる量を考えたら、子供達のためにもまず安全第一と思うべきだ。
(女性、60歳以上、杉並区)
- 国産のほうが安全そうなのだが、高価なため、結局手にとるのは外国産の食材が多くなる。
(男性、40代、葛飾区)

(5) 食品の製造者や販売店等に望むこと 53件

- 私たちみんなが毎日口にする物なので、生産者、流通での過程、そして販売するお店がみな自覚をもってまちがっても害になるものを口にすることがないようにしてほしい。
(女性、60歳以上、八王子市)
- 飲食店、また生ものを販売している店等の従業員、店員が長い髪の毛をたらし、時々それに触れた手で食品を扱っているのが気になります。マスクをしていても咳をしながら、店頭にはレジに立つのも止めてほしいと思います。
(女性、60歳以上、世田谷区)
- 産地偽装などは購入者がどうしようもないことなので、製造者側には高いモラルを持ってもらいたい。
(男性、30代、江戸川区)
- 店舗で提供される食品の安全性と衛生管理がきがりだ。食するほうも提供するほうも意識を高めなくてはならないと思う。
(女性、60歳以上、新宿区)
- 世間にこれだけアレルギー疾患がふえているのは、食べ物の影響が大きいと感じております。化学合成された添加物や農薬などを減らしていかなければ、私たちのこれからの世代の繁栄は望めないと思います。大手食品メーカーは消費者に命をサービスしているという意識を持ち、利益追求ばかりではない存在になってくれることを切に望みます。とくに小さい子が口にするお菓子類は安全性の高いものを作ってほしいです。
(女性、40代、大田区)